

山田無文 （漢名） 僧侶。明治二十二年七月十六日愛知縣生乳。昭和六十三年十一月二十四日歿（一九〇一—六六）。俗名長次郎。號大室、通仙洞。大正二年上京、東洋大學在學中河口慧海の雪山精舎に入門し、戒を授け歸郷。十一年臨濟宗大學の編入。卒業後關精拙の下で二十五年關雲水生活。昭和二十四年妙心寺靈雲院住職。花園大學學長。五十三年妙心寺派管長。靖國神社國家護持論者。

著書『龜山天皇御尊蹟』（昭和十六年十月）（東京都・龜山天皇報恩會。再刊・十七年二月）（東京都・立命館出版部）、關精拙著『武士道乃高揚』（編、昭和十七年一月）（二十五日京都・顯道書院）、『寺とあむせの』（昭和二十五年十月）（東京都・花園大學出版部）『花園文庫』（編、昭和二十二年四月）（東京都・大本山龍光寺）、『東洋とは何か』（合著・大阪仏教文化協会編、昭和四十年十一月十八日大阪・大阪仏教文化協会）等。

